
仮面

another R

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面

【Nコード】

N2079E

【作者名】

another R

【あらすじ】

人はみな「仮面」を被っている。その裏には、人間の本性が隠れている。

第1話 「孤独の仮面」

第1話 「孤独の仮面」

皆が被っている偽りの仮面。笑顔を絶やさないと天使もいれば、怒りに狂う悪魔もいる。

午前2時。俺はこの街の中心の天辺にいる。

普段なら、寝静まった時間だ。だけど、この街は眠らない街だ。

チャラチャラした連中が、酒やら金やら女やらを好き放題する時間。

皆が素面になる時間。この時間が、俺は大好きだ。

嘘を付くのも、付かれるのも嫌いだ。

裏切りや欺きも、俺は大嫌いだ。

こんな時代に、こんな甘い事は言ってもらえないが。それでも、信念は変えられない。

毎日のように、考えに更ける。そして、朝を迎える。

煙草に火をつけ、そこから吹き上がる煙を眺める。

煙草の臭いが、辺りを覆う。今は、制服姿だ。

気になるが、俺は気にしないようにしている。

学校に向かう。久しぶりだ。

久しく学校に行っていなかった。

学校に着くや否や、俺は指導室改め鳥かごに連れられた。

「久しぶりやな、多岐山。」

2年の時の元担任。確か藤里だ。

「……ども。」

「この学校はなあ、お前が来るまでは、優秀なエリート校だったんだ。」

「は」をすごく強調された。

俺は、著しく転校先を誤った。こんなエリート校じゃ、俺は完全な不良だ。

「そっすか。」こいつの話は長い。

前も、煙草がバレて1時間説教を喰らった。

その前は、暴力事件なんて大袈裟に言われる事件も起こした。俺は悪くない。ただ、歩いてただけなのに、後ろから陰口を言われた。

そして、そのまま殴ってしまった。

先生が5人程で俺を抑えて、その足で鳥かご行きだ。

俺は、誰にも信用されていない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2079e/>

仮面

2011年1月4日15時43分発行